

株式会社 TOKAI ホールディングス
2024 年 3 月期第 2 四半期 決算説明会（2023 年 11 月 9 日開催）
質疑応答要旨

Q：配当性向 40~50%とのことだが、足元のキャッシュフロー水準と比較した場合、変更等の考えはあるか。

A：キャッシュフローにつきまして、事業の成長投資と株主還元に向けの方針に変更はございません。事業拡大に伴い、配当方針も拡大していく考えのもと進めてまいります。

Q：顧客獲得が順調に推移しているとのことだが、その背景は何か。

A：上期は主力事業を中心に、顧客件数を 28 千件純増させることができました。特に、エネルギーについては、既存エリアは勿論のこと、中京圏を始めとした新規エリアでも獲得が順調に進捗しています。

また、CATV については、品質の高い光ファイバーを使った家庭向けの放送サービスに加え、インターネットサービスのクロスセル営業に注力しています。

下期も引き続き、当社の強みである営業力を活かし、顧客基盤の拡大を図ってまいります。

Q：業績予想の進捗について、上期実績を踏まえ通期見通しに変更はあるか。

A：上期について、営業利益はエネルギーセグメントで気温高による影響がマイナス 5 億円ありましたが、情報通信の獲得費用の減と CATV の利益率改善等のプラス要因により、全体では予算どおり進捗しています。

顧客件数については、情報通信ブロードバンドの獲得の遅れ等があるものの、ガス、CATV 等は順調に推移しています。

通期見通しについては、全体の売上高・営業利益は、当初の業績予想に変更はありません。

セグメント別では、エネルギーは下期にガス仕入価格を一部ヘッジしたことやコスト削減により、上期のマイナスをカバーし、通期予算を達成できる見通しです。

また、情報通信事業についても、上期獲得件数の遅れを下期で挽回するため、獲得費用が下期にずれ込む影響で、通期予想どおり着地する見通しです。

以上